つながるカレッジねりま　みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第1回「コミュニティ・ガーデナー入門」

日　時：令和5年4月20日（木）9：30～12：30

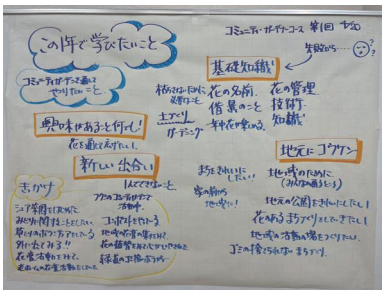
会　場：四季の香ローズガーデン

今回の講座の流れ

令和5年度の「コミュニティ・ガーデナーコース」が開講しました。前半では、講座全体のオリエンテーションと区民協働花壇についての紹介、そして「コミュニティガーデン」の基本的な内容を学びました。後半では、実習地花壇の見学と周辺状況の確認を行い、感じたことなどを付箋に記入しました。その付箋の内容をグループで共有し、周辺条件をまとめるワークショップを体験しました。

各プログラムの様子

区民協働花壇の紹介



講座で学びたいこと
（自己紹介）

実習地をみてみよう

実習地で感じたこと

オリエンテーション

講座趣旨や講座カリキュラムなどの説明を受けた後、練馬のみどりについてや区民協働花壇事業など、区の施策を学習し、卒業後の新規花壇団体の立上げイメージを共有しました。受講生の自己紹介では、講座に対して「公園をきれいにしたい」「地域に貢献したい」など様々な声が聞かれました。

コミュニティガーデン入門／コンセプトとは

コミュニティガーデンとは、仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や、見て楽しむ人の笑顔がある「地域のみんなの庭」であることを学びました。そして、みんなで方向性を共有するためには、ガーデンづくりの「コンセプト」が大事であることを実感しました。

実習地を見てみよう

昨年度の受講生がつくった実習地花壇を見学し、周辺状況を確認して、感じたことなどを各自で付箋に記録していきました。

コンセプトワーク

実習地の周辺条件を確認して「風通しが良い」「日当たりが良い」「大きな交差点でたくさんの人に見てもらえる」など、コンセプトにつながる意見を出し合いました。

コミュニティガーデンについて

コミュニティガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

今回のキーワード

「みどりを守り育てること」

「まちに緑を増やそう」というキャッチフレーズを耳にすることがあります。「緑」のある空間は一般的に「安らぐ」というイメージがあります。しかし、ただ緑や花があちこちに植栽されているだけでは、個性を感じられる心和む場所にはなりません。「みどりを守り育てること」が目指していることの一つに、その場所を、人間味のある持続可能なまちづくりに向けて、みんなで、みどりや花をどのように活かしていくか、ということがあると思います。コミュニティガーデンは「地域の庭」です。そして、区民・行政・専門家たちも一緒になって、あらゆる観点から共に学び合い、工夫しながら作っていく「協働の庭」でもあります。

今月の花壇団体紹介

団体名：たかはら公園
花壇管理委員会

活動場所：たかはら公園
（谷原1-18-1）

活動日時：不定期
（メンバー内相談）

「月に一回のんびり楽しく活動してます！ご興味がありましたら、活動日に見学にいらしてください。」